

別紙

中国電力株式会社大崎発電所温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

中国電力株式会社 大崎発電所

(2) 事業所の所在地

広島県豊田郡大崎上島町中野6208番地1

(3) 業種

電気業－発電所（3311）

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準とし、平成23（2011）年度から平成26（2014）年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況
《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成22年度	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c) 平成26年度	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	620,608	12,926 97.9	493,240 20.5				
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素	10,382	0 100	8,299 20.1				
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	630,990	12,926 98	501,539 20.5				
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	・温室効果ガスの排出抑制に向けた取組みを实践した結果、平成22年度に対し、平成23年度は全体的に排出量の削減が図れた。						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：送電電力量 (MWh)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成22年度	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c) 平成 年度	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位 (原油換 算kl)	0.2579		0.2520 2				
実績に対する 自己評価	・温室効果ガスの排出抑制に向けた取組みを实践した結果、平成22年度に対し、平成23年度は原単位の削減が図れた。						

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	C02排出原単位の低減	現状維持※	高効率運転の継続 ・発電効率の傾向管理 ・復水器清浄度管理 ・CWP粘度管理方法の検証
2	オフィスの省エネ	目標：前年度実績以下 実績：電気の使用量6.7%削減 〔H22年度実績：647,596kwh H23年度実績：604,165kwh〕	管理棟事務所電力使用量の所内周知 コピー機使用状況の追跡管理
3	プラントの省エネ	目標：所内比率7.5%以下 実績：所内比率7.18%	所内比率の追跡調査

※大崎発電所は高効率の加圧流動床複合発電方式（PFBC）を採用しており、現状性能を維持し、安定運転をすることにより取り組んだ。

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	事務用紙使用量の低減	目標：前年度実績以下 実績：事務用紙使用量1.1%増 〔H22年度実績：1,070kg H23年度実績：1,082kg〕	用紙使用量とリサイクル古紙量の追跡管理 用紙使用状況の所内周知
2	環境・エネルギー教育支援活動の推進	目標：2回/年 実績：2回/年	地域の小学生を対象に環境教室を実施
3	環境保全活動の推進	目標：2回/年 実績：2回/年	地域清掃活動の実施
4	環境教育の実施	目標：受講率100% 実績：受講率100%	以下の環境教育を実施 ・一般環境教育（全所員対象） ・転入者教育（転入者対象）
5	環境管理等に関する知識向上	目標：受講率100% 実績：受講率100%	環境管理研修会（環境関連業務従事者対象）を実施